

V. プログラムの名称と特徴

<名 称> 芳賀赤十字病院初期臨床研修プログラム

<ローテーション例>

1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科系（循環器・腎臓・呼吸器・血液・神経・一般）						消化器系（消化器内科・消化器外科・一般外科・泌尿器科）			救急部門		麻酔科

2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科系 （整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科）			周産期 （産婦人科）	周産期 （小児科）	精神科	地域医療	地域保健	選択	選択	選択	

<募集定員> 5名

<プログラム指導者と連携施設>

- ・プログラム指導責任者 副院長兼第一内科部長 村上 善昭
- ・プログラム責任者 副院長兼第一産婦人科部長 渡辺 尚
- ・基幹病院 芳賀赤十字病院
- ・連携施設（研修協力病院・協力施設）と研修分野
 精神科研修・・・自治医科大学附属病院、烏山台病院
 臨床病理検討会・・・芳賀赤十字病院、自治医科大学附属病院（芳賀赤十字病院（自治医科大学附属病院病理医師同席）、自治医科大学附属病院で行われる臨床病理検討会に参加する。）
 地域医療・・・芳賀赤十字訪問看護ステーション、福田記念病院、真岡病院、桜井内科クリニック、真岡中央クリニック、高橋内科クリニック、真岡皮膚科クリニック
 地域保健・・・県内広域健康福祉センター

<特 徴> **基本的なことをしっかり学ぶ目標達成率の高いプログラム**

1. 研修医は、内科系（循環器・腎臓・呼吸器・血液・神経・一般内科）、消化器系（消化器内科・消化器外科・一般外科・泌尿器科疾患）、外科系（整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科）、救急部門、麻酔科、周産期（小児科・産婦人科）を病棟ごとに8つのグループに分け、厚生労働省の研修到達目標を十分に到達できるようすべての領域をローテーションする。
2. 救急研修では、定期的に救急当直を担当し、救急外来に来た全科の救急患者の診療にあたる。救急研修以外でも、日常診療において救急対応・日当直研修時において経験する。

3. 病棟での研修は、診療科が混合（一部を除き）しており、研修目標としているすべての症例を経験することができるよう構成している。複数の疾患を複数の指導医とともに担当し、臓器にとらわれない研修をする。各病棟では、研修分野の疾患および処置を適宜研修する。どのように診療科に帰属するかについては、担当スタッフと研修医とで決める。
4. 選択期間は3ヶ月を設けている。全科より3科まで選択する。
5. 地域医療研修では、へき地巡回診療や訪問診療を研修する。また、地域の診療所、芳賀赤十字訪問看護ステーションにて研修する。
6. 赤十字病院の特徴である災害救護研修に参加する。
7. 当院と連携する自治医科大学附属病院では、精神・神経系疾患領域を研修する。また、臨床病理検討会に参加する。
8. 当院では、ローテートする病棟の8つのグループすべてに臨床研修指導医講習会を修了した指導医をおいている。医師臨床研修制度で定められている研修目標の達成のために、指導医をはじめ、看護部門、医療技術部門、事務部門の教育研修担当者を含む病院全スタッフ及び地域のスタッフが研修医をサポートする。